

令和三年度

三宅村立三宅中学校



学校だより

第 148 号

令和 3 年 6 月 1 日発行

校長 小澤 秋仁

東京都三宅島三宅村伊豆 470

TEL 04994-2-0049

FAX 04994-2-1376

<http://miyake-chu.sakura.ne.jp/>

父のステレオ

校長 小澤 秋仁

子どもの頃、音楽を聴くといえばカセットテープかレコードでした。レコードから流れる音は深みがあり、針と溝がこすれる音はたまたま味わいがありました。テントウムシ型の携帯用プレーヤーしかなかった我家に、ある日、大型のステレオが運ばれてきました。大切にする父は給料日のたびにヘッドフォンやマイクといった周辺機器を増やしていきました。ステレオを使用する際は父の許可が必要で、私にとってそれが面倒でありませんでした。父の留守中に、当時流行していたピンクレディーを聴こうとレコード針を下すと、玄関のドアノブの回る音が聞こえてきたのです。すぐ様ヘッドフォンを接続して音を抑え込もうとしたのですが、慌ててマイクのプラグをヘッドフォンのジャックに差し込んでしまったのです。「許可なしに使っているのは誰だ！」父親の怒鳴り声が響きました。次の瞬間その響きとは異質の女性の声が私の耳に届きました。出处をたどると、誤って接続したマイクから「UFO」の歌声が聞こえてきていたのです。約束を破ったことに対する謝罪の言葉より先に「父さん！マイクから歌が聞こえる!!」驚きと発見の表情をする私をみて、父は叱責の言葉を失い、私の発言内容を確認し始めたのです。「ホントだ!!」父も驚愕！マイクは音を拾う道具であるのに、明らかに空気を振るわせ、音源となっていたのです。その時、「逆にヘッドフォンをマイクのジャックにさしてみよう！」父は「私に対する叱責の時間」を「私の好奇心の芽を育てる時間」に変換しました。ステレオが故障することを覚悟で実験し、ヘッドフォンに話しかけたのです。その声は、スピーカーから流れ出しました。翌日、マイクとヘッドフォン（スピーカー）の最も基本的な部分の構造は同じであると、父が我家のインターフォンを使って説明してくれました。「インターフォンは部品の数を少なくするために、マイクもスピーカーも同じ部品を使っている。」カバーを開け、確認をしました。誤操作により見方を変えたことで、スピーカーはマイクにもなりうることを知りました。

ある出来事や物事を、今の見方とは違った見方をする事で、それらの意味を変化させることを「フレームの変換」というそうです。フレームの変換の例をご紹介します。

「付箋」は皆さんご存じですね。強力な接着剤の開発に失敗し、「よく付くが簡単にはがれる」奇妙な接着剤が出来上がりました。角度を変えて捉え、失敗に新しい意味をもたせ、「何度も

教育目標

「ふるさとの発展に進んで貢献する生徒の育成」

- 1 目標をもって意欲的に学ぶ生徒
- 2 人間性・社会性をはぐくみ、相手の立場に立って行動する生徒
- 3 心身ともに健康で明るい生徒

貼れて何度もはがせる付箋」を商品化し、世界的ヒットへと導きました。

次の場合はいかがでしょうか。参考書を選んでいるときに「90%の人は成績が上昇しました。」という場合と「10%の人は成績に変化が見られませんでした。」と店員さんに薦められた場合では、同じ参考書、同じ成績の上昇率の話にも関わらず、判断に影響しそうですね。（悪い部分より良い部分を見て!!）

次はよくあるケースです。「公式戦まであと1週間しかない。」「定期考査まであと1週間しかない。」と考えると焦ってしまいます。焦っても本番は延期されません。「まだ、1週間ある！」と考えれば、心の余裕が生まれます。（もちろんそこまで積み重ねていることが前提ですが。）

私は偶然の賜物で気づき発見しました。偶然ではなく意図的に「フレームの変換」をすることができれば、可能性が広がるのではないのでしょうか。また、何かこう着したり、余裕がなくなったとき、フレームの変換で見方を変えれば、同じ事柄であっても違う方法を獲得し、前進することができるはずです。

暑さが上昇し、校長室においても、扇風機の力を借りることにしました。すると、後ろのカレンダーを吸い込みそうになっているではありませんか。「扇風機と換気扇の基本構造は同じだ。」そして、脳裏にステレオ無許可使用事件がよぎりました。あの日の父の「フレームの変換」が私の理科教師への可能性を広げてくれたのだと感謝しています。



6月の生活目標

健康な心身をつくろう



6月の保健目標

歯の健康を考えよう



2年生「農業体験」(5月7日)

三宅高校農業科の皆様にご指導いただき、里芋の植え付け、ハウスで栽培したトマトの収穫と試食など、貴重な体験をさせていただきました。



【生徒の感想より】

- ◆最も印象に残ったことは、お茶の葉を整える機械です。大きな機械の迫力と、農業に対する意識に感動しました。自分の将来の選択肢に農業科が加わりました。
- ◆一つの野菜を育てるために様々な工夫が重ねられていることや、私たちが普段食べている野菜や果物には様々な人たちの多くの手間暇がかかっていることを知ることができました。里芋を一生懸命植えたので収穫が待ち遠しいです。

1年生「野鳥観察」(5月11日)

「郷土理解学習」の一つとして、大路池周辺での野鳥観察を行いました。アカコッコ館のレンジャーさん



たちのガイドのおかげで、鳥の名前や鳴き声の特徴はもちろん、習性などについても詳しく知ることができました。

【生徒の感想より】

- ◆私が見ることができてうれしかったのは「キビタキ」という渡り鳥です。色がとてもきれいで、オレンジ、黄、黒、白の4色でした。私たち1班は合計12種類の鳥を見ることができました。ハシブトガラスとハシボソガラスの違いや鳴き声などたくさんをレンジャーさんにわかりやすく教えていただいたおかげで、鳥の知識が新しく増えました。本当に勉強になる1時間でした。

1年生家庭科「福祉体験授業」(5月25日)

三宅島社会福祉協議会にご協力いただき、福祉に関する授業を行いました。「高齢者疑似体験」では、ヘッドフォンとサングラスで聴力、視力が低下した状態、おもりの入ったベストや関節のサポーターで筋力が低下し関節がうまく動かせない状態にすることで、移動や階段の上り下り、寝る・起きるといった日常の動作がどれだけ大変なものになるのかを疑似体験しました。特に、腰が曲がったままの状態での移動することはとてもつらかったようです。

この体験を生かし、相手の気持ちに寄り添った支援ができる人になってくれることを期待しています。



1年生「写生会」(5月28日)

大路池・迷子椎周辺での写生会を実施しました。巨樹の会代表の佐久間さんから巨樹に関するお話を聞き、三宅の豊かな自然に心を馳せながら、集中してスケッチに取り組んでいました。



環境美化デー(5月28日)

環境美化委員会を中心となり、全校生徒で力を合わせてプールの清掃活動に取り組みました。スローガンは「光るプールと輝く自分」でした。



令和3年6月 主な予定

- 1日(火) 専門委員会
- 2日(水) ⑤⑥カット 13:30 下校
- 3日(木) 進路が「ダンス(オンライン視聴)
- 4日(金) 中央委員会
- 7日(月) 生徒朝礼 安全指導
- 8日(火) 水泳事前検診
- 10日(木) 考査前学習会始(15日まで)
- 16日(水) 期末考査(社・技家・音)
- 17日(木) 期末考査(国・数・美)
- 18日(金) 期末考査(理・英・体)
⑥セーフティ教室
- 21日(月) 全校朝礼
- 23日(水) シーカヤック(3年)
- 24日(木) 心理士巡回
- 25日(金) 全校進路説明会
- 26日(土) 道徳地区公開講座(学校公開)
- 28日(月) シーカヤック(1年)
- 29日(火) シーカヤック(2年)

※スクールカウンセラー来校予定日

- 9(水)・10(木)・15(火)・21(月)